

ちょこつとマーケット

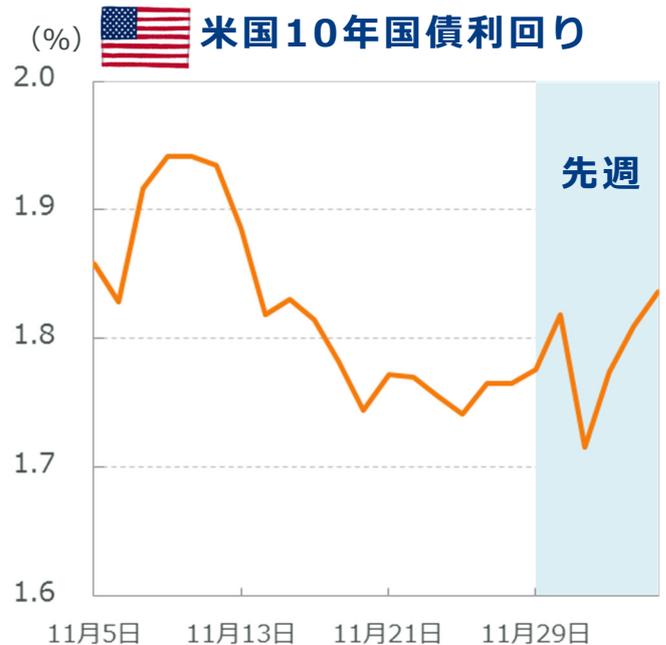
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2019年12月2日～2019年12月6日】

国債売られ利回りは上昇

- ◆ 前週発表の好調な中国経済指標を受けて世界経済の先行き懸念が後退し、先進国国債は売りが進みました。
- ◆ 週半ばは米中貿易協議に対する期待感の後退から国債が買われる場面もありましたが、11月の米雇用統計が市場予想を上回ったことで米経済は堅調との見方が広がり、国債は一段と売りが進みました。



(注) データは2019年11月5日から2019年12月6日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよこツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年12月2日～2019年12月6日】

円は対米ドルで上昇

- ◆米中貿易協議に対する期待感の後退やトランプ米大統領に対する弾劾手続きへの警戒感などから、比較的安全な資産とされる円が買われる動きとなりました。
- ◆豪ドルは良好な中国経済指標やRBA（オーストラリア準備銀行）による追加利下げ観測の後退などを背景に強含み、円は対豪ドルでは小幅に下落しました。

 **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



(注) データは2019年11月5日から2019年12月6日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。